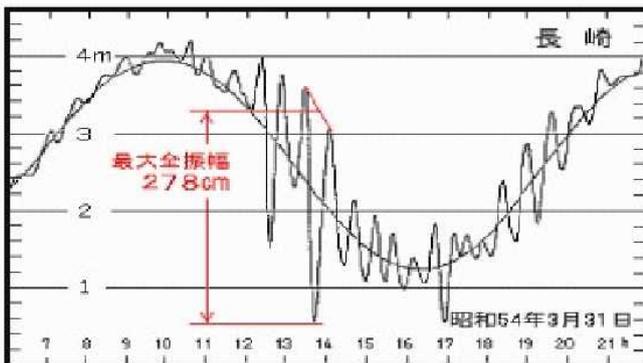


冬から春の「あびき」による潮位変化にご注意！

➤ 「あびき(副震動)」とは、日々くり返す満潮・干潮の潮位変化を主振動としてそれ以外の潮位の振動に対して名づけられたものです。海峽や湾などで観測される、数分～数十分程度の周期の海面の昇降現象をいいます。

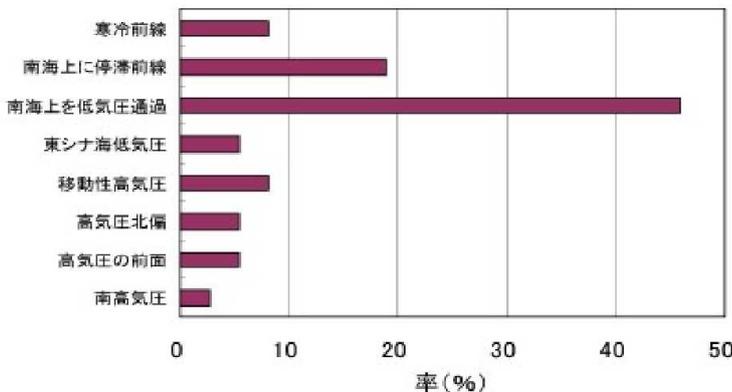
主な発生原因は、低気圧等の気象じょう乱に起因する海洋のじょう乱などが長波となって沿岸域に伝わり、湾内等に入ることにより引き起こされます。

振動の周期が湾等の固有周期に近い場合、共鳴を起こし潮位の変化が著しく大きくなる場合があります、過去には係留していた船舶の流失や低地での浸水被害が発生しています。九州西岸では特に大きな副振動が発生しやすく、「あびき」と呼ばれています。



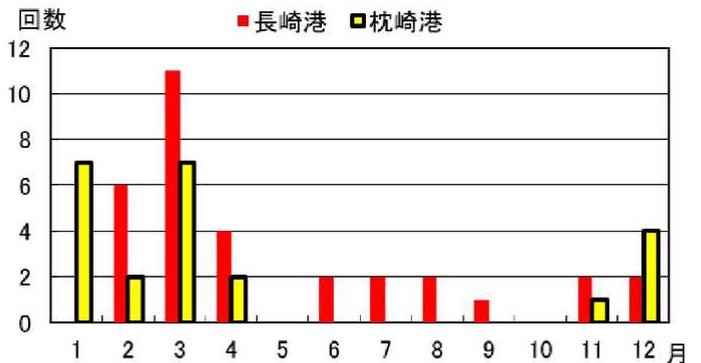
気象庁長崎検潮所で観測された「あびき」例

「あびき(100cm以上)」発生時の天気概況

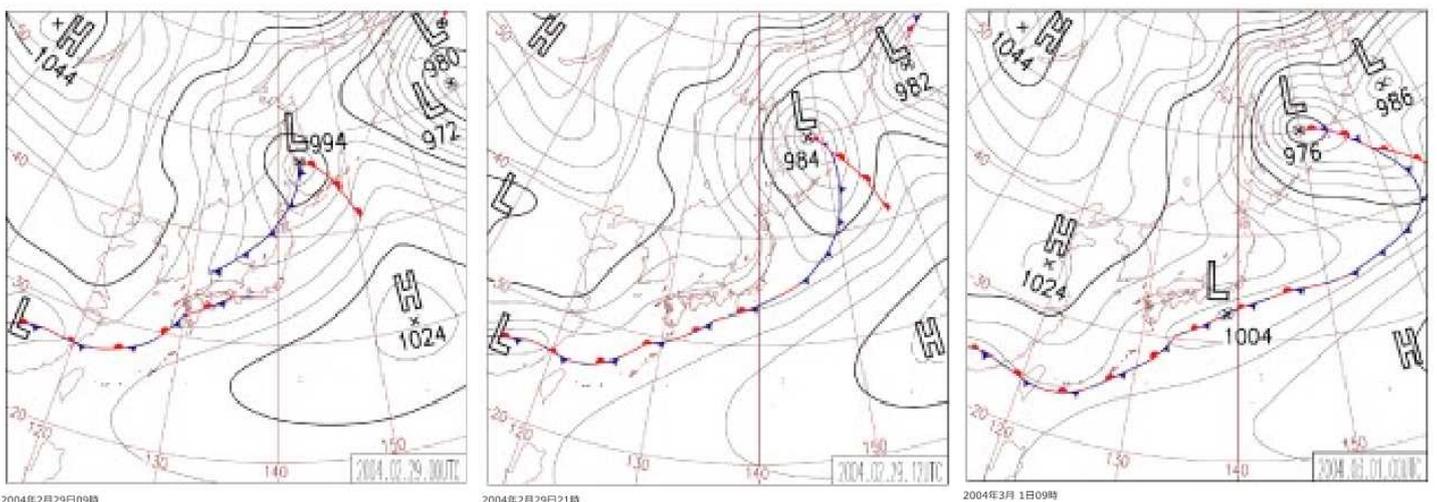


統計期間：1961-2005年の3月(37件)

100cmを超える「あびき」は九州南海上を低気圧通過時が最多



長崎港と枕崎港における全振幅100センチ以上のあびきの発生回数
統計期間：平成9年(1997年)～令和元年(2019年)



過去「あびき」が発生した時の天気図

※参照：福岡管区気象台、長崎地方気象台